

小樽市の学校再編に関わる事務について

小樽市立潮見台小学校
中山好明

1. はじめに

小樽市では、平成18年「小樽市立学校の規模・配置の在り方検討委員会」が設立され平成19年10月に答申を教育委員会に提出、それを受け平成20年6月教育委員会として具体的な学校の適正化にあたっての考え方をしました。その後地域懇談会をへて、平成21年2月「小樽市立小中学校・学校規模・学校適正化基本計画(素案)」が示され、地域説明会・パブリックコメントを行い「小樽市立小中学校規模・学校配置適正化基本計画」が策定されました。

現在その適正配置計画に基づいて小樽市の学校再編が行われています。この間事務職員としてどう対応したか、または事務職員間でどのような話し合いを持ったかをまとめたレポートです。

2. 小樽市の適正化計画に基づく学校再編の状況

◎既に実施されている適正化計画に基づく学校再編

- 平成24年3月 量徳小学校が閉校
児童は花園小学校・潮見台小学校へ
- 平成25年3月 若竹小学校が閉校
児童は桜小学校・潮見台小学校へ
- 平成25年3月 祝津小学校が閉校
児童は高島小学校へ
- 平成28年3月 色内小学校・北手宮小学校
手宮小学校・手宮西小学校が閉校
色内小学校児童は稲穂小・長橋小・新設手宮中央小学校へ
北手宮・手宮西・手宮小学校児童は新設手宮中央小学校へ
※平成26年手宮小学校を新築し、28年4月手宮中央小学校へ移行
塩谷中学校が閉校、生徒は長橋中学校へ

◎今後決定している適正配置計画に基づく学校再編

- 平成29年3月 北山中学校・末広中学校

が閉校 生徒は新設北陵中学校へ
校舎は、28年3月閉校手宮西小学校
使用

- 平成30年3月 入船小学校・緑小学校・最上小学校・天神小学校が閉校
入船小学校児童は、花園小学校・奥沢小学校・新設山の手地区小学校へ
緑小学校・最上小学校の児童は新設山の手地区小学校へ

- 天神小学校の児童は、奥沢小学校へ
- ※平成30年末現在で、市内 小学校18校 中学校12校の30校

◎今後決定されている適正配置計画に基づく再編該当学校

- (潮見台中学校・向陽中学校)
- (松ヶ枝中学校・西陵中学校)
- (忍路中央小学校・塩谷小学校・長橋小学校)
- (忍路中学校・長橋中学校)
- (桂岡小学校・銭函小学校・張碓小学校)
- (豊倉小学校・望洋台小学校・朝里小学校)
- (望洋台中学校・桜町中学校)

3. 小樽市教育研究会学校事務部会での話し合い

- ◎平成24年度小樽市教育研究会
研究テーマ「小樽市の学校事務を問直す」
サブテーマ「学校再編にかかわる事務」
- 平成24年8月に若竹小学校閉校にともなう該当校学習会報告を受け、下記内容での討議
- (1) 文書・銀行口座通帳残金処理・記念作品・歴代校長 PTA 会長写真・絵画等美術作品の取扱いについて
※歴代校長 PTA 会長写真は博物館保管。
- (2) 近い将来統廃合にかかわる学校での今からのとりくみについて
※早めの備品の整備が必要。
- (3) 将来使われない校舎の管理について
※他施設に利用されそうも無い校舎・校地がどのように管理されるのか。
- (4) 校舎の新築、改築にどうかかわっていくか
※事務職員の立場で、意見反映が必要では。
- 平成24年11月部会
若竹小学校閉校にむけた作業
・9月末に備品台帳と現物照合

- ・理科備品の整理について一国庫補助のため、原則他校への移設
- ・廃棄物品の処理について一大量ゴミとしての処理

平成18年3月閉校、堺小学校閉校事務について（当時の事務職員より）

- ・閉校にむけたタイムスケジュールー9月～3月までの、校内・PTA 組織のタイムスケジュール
- ・学校備え付け表簿の取扱いについて一保存年限のある文書の委員会への引継ぎ
- ・通帳、郵便切手の引継ぎについて一解約通帳と利息・郵便切手の市教委への引継ぎ

○平成25年1月部会

- ・若竹小学校閉校にむけたタイムスケジュール
- ※他校移設物品の運搬スケジュール。
- ・1年間の「学校再編にかかわる事務」のまとめ
- ※閉校事務のマニュアル作成については、業務内容・責任の所在などを考慮し慎重に検討していく必要がある。

◎平成25年度小樽市教育研究会

研究テーマ「小樽市の学校事務を問い返す」
サブテーマ「実践交流を基に学校事務を考える」

○6月部会

「手宮小学校の新築にともなって」意見交流
校舎図面を見ながら、問題点の検証

- ※オープン教室を普通教室に戻すべきでは・事務室、保健室の位置・雪捨て場の確保・除雪機の保管場所 等

○9月部会

手宮小学校校舎新築にともない要望の結果について報告

- ※オープン教室を普通教室にという要望については、小樽市では昭和63年校舎新築よりオープン教室を採用し変更することは無い。事務室、保健室の位置については、場所の確保が難しく職員室の近くに設置できない。

◎平成26年度小樽市教育研究会

研究テーマ「小樽市の学校事務を問い返す」
サブテーマ「実践交流を基に学校事務を考える」

○6月部会

統廃合校における備品の整備状況

※手宮小学校で、台帳との現有確認。

手宮西小学校で、不明備品の廃棄手続き。

○9月部会

手宮小学校 新校舎引越しに関わる業務説明
引越して使用する消耗品一覧（布ガムテープ・ラベル等）

新校舎で新しく使用する物品一覧（掃除用具・児童用椅子）

具体的な引越しの作業のスケジュール（梱包・業者荷積み）

廃棄リストの一覧（ゴミ分別）

※以前、引越しを体験した事務職員からのアドバイスもあった。

○10月部会

統合に向けた予算要望（施設設備・備品等）の課題について

※長橋中では、塩谷中学校閉校受け入れで両校の生徒用椅子規格が違い要望を出した。

○11月実技研修会

新築手宮小学校視察

※当該事務職員から施設設備の説明後、校舎見学。暖房設備（ガスストーブ）・特別教室の設備について関心が高かった。

◎平成27年度小樽市教育研究会

研究テーマ「小樽市の学校事務を問い返す」
サブテーマ「実践交流を基に学校事務を考える」

○10月部会

統廃合業務について

- ・閉校手宮西小学校ー1年後新設される北陵中学校に改築にともない、施設設備の不具合箇所の引継ぎ状況の報告・購入備品の連絡

※グラウンドが校舎から見えず、生徒指導上問題がある。

- ・塩谷中学校閉校に向け、使用できる備品・廃棄備品・不明備品を色わけして整備している。

- ・閉校になる学校の学区変更が容易で、特定の学校に児童が集まっている。

4. 協議会ブロック別研修での話し合い

平成27年度協議会ブロック別研修を、テーマを設定し希望者に所属してもらい形式に変更して行った。その一つのブロックのテーマを「統廃合準備」として設け、主に近年統廃合の該当になる事務職員11名が所属することになった。

◎8月ブロック別研修での話し合い

- ・塩谷中学校閉校式実施要項、記念誌・記念品について

- ・統合中学校（新設 北陵中学校）校舎等改修実施設計調整会議について

◎1月研修での話し合い

- ・閉校する学校の移管備品の見学について
- ・新校舎への移転に伴う消耗品等要望について

- ・新校舎教室テレビ整備について

- ・新規格椅子需要数について

- ・閉校記念準備委員会について

- ・校舎等改修実施設計調整会議資料について

- ・保存文書引継ぎについて

- ・教材現有確認について

- ・閉校に伴う備品台帳一覧表等の調査について

- ・統廃合等についての質問事項について

- ・計画的な準備作業について

◎話し合いについて

各学校より、統廃合の状況が異なり、モデルケース的な資料収集ができなかった。また、校内の事務職員の役割もそれぞれの学校により異なり、個別の案件を検討することはできなかった。

学習環境整備につながる日常的教材で何が必要か、適正な文書管理を学校職員一体で行う必要性が認識されました。

また、上記項目を該当校にあてはめ、学校事務の活動として充実させていくことが、閉校事務を滞りなく進めることに繋がっていくと考えられました。

5. おわりに

今後適正配置計画に基づき学校再編が進むと小樽市では学校数が、現在の34校から21校となる予定です。

小樽市では、今回のレポートで紹介した通り、主に小樽市教育研究会学校事務部会の中で、学校再編に関わる事務での意見交換等を行い、課題を共有し解決にあたってきました。

事務職員は、学校統廃合で校舎改築・備品の移動、廃棄・文書整理等関連する多岐にわたる業務をこなさなければなりません。この業務をどのように処理するか、事前に情報を得て該当

校同士で連絡を取り合うことが重要であることが改めて認識されました。この意見交換の場として、小樽市教育研究会学校事務部会・小樽市公立小中学校事務職員協議会ブロック別研修が活用されました。この場での話し合いの結果が、これから学校再編の該当になる学校の参考になり、業務が順調に行われ、しいては事務職員間の学校間連携に繋がることを期待します。